

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	基礎演習 I	1		
平成25年度以前	基礎演習 I	1		
教職	教科に関する科目(中学校及び高等学校)			言語
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 大学で必要とされる学習方法や学習能力は、高校までとはかなりの違いがあります。講義のノートをとる際にも、かなりの速さで進む説明を、自分なりにまとめて記述することが求められますし、教科書の内容を理解し記憶するというより、テキストや参考文献は、その内容に基づいて自分なりに論理的な思考を重ねたり、時には批判的な評価を加えることが必要になります。この授業では、大学生にふさわしい学習の仕方、本の読み方、口頭や文章での意見の発表の仕方を学びます。また、各自の志望する進路を実現するために必要な基礎学力の養成を図ります。				共通
<b>授業の概要</b> この授業は、市役所や県庁などの地方上級公務員をめざす学生のPクラス、警察官・消防官および自衛官など市民と社会の安全を守る公務員をめざす学生のSクラス、一般の企業への就職や起業をめざす学生のEクラスがあり、それによって授業内容は若干異なります。一年間同一のクラスで、同じ担当教員の指導の下、少人数クラスで、大学生として必要な基礎的技能と知識の養成と学力の向上を目指します。				専門基礎
<b>授業計画</b>  <b>春学期</b> 春学期の第一の目標は、大学に慣れることです。ノートの取り方を学び、図書館の使い方・活用方法を学びます。「読むこと」に慣れ、社会で起きている様々な出来事を知り、社会科学の学習、研究への第一歩を踏み出すため、さまざまな文章を読みます。新聞の社説やエッセイなどを読み、その内容を要約する練習もあります。加えて、国語や数学の演習問題に取り組みます。また、学生同士や教員との交流を深めるため、学外での合宿であるFOC (Freshman Orientation Camp) やスポーツイベントに参加します。必要に応じて、随時、個人指導があります。  <b>秋学期</b> 春学期に養成した「読んで理解する」力に磨きをかけるとともに、さらに「書くこと」に慣れることを目指します。大学生としてのレポートを書けるようになることが目標です。最終的には、それぞれのテーマでレポートを書いて提出してもらいます。そのために、レポート作成にあたって、文章の形式、表現、文体などさまざまな面から実際に書く練習をします。加えて、国語や数学の演習問題に取り組みます。また、口頭での発表力を養成する機会ももちます。なお、必要に応じて、随時、個人指導があります。				法律一般
<b>テキスト</b>  『基礎演習 I 2015』(平成国際大学版)				政治行政
<b>参考書・参考資料等</b>  適宜配布、あるいは指示します。				経営法務
<b>学生に対する評価</b>  平常の授業への参加状況、課題への取組姿勢、授業時の発表および課題提出物によって評価します。				スポーツ福祉

演習

25年度以前

演習科目